

「令和5年度 大分県臨床研修医 合同研修会」を開催しました。

2023年9月2日に令和5年度 大分県臨床研修医 合同研修会をレンブラントホテルにて開催しました。本研修会は大分県内で初期臨床研修を行っている、主に1年目の初期臨床研修医全員を対象に大分県地域医療支援センターが大分県医師会と共催しているものです。会の目的は以下の三項目になっています。

- ① 研修医全員が集まり、研修医同士の交流を通して連帯感を醸成する。
- ② 大分県の医療の現状と問題点を理解し、今後医師として果たすべき役割を確認する
- ③ 県医師会の理念と使命・活動内容を周知する。

今年度は、初期研修医69名(1年目58名、2年目11名)、指導医の先生方10名、その他大分県医師会の先生方、大分県医療政策課の方々も参加されました。

開会の激励のおことばとして河野幸治・県医師会長から初期研修医に向けて、お祝いの言葉が送られました。初期臨床研修の場として大分県を選んでくれたことに感謝すると共に、大分県の地域医療で活躍してほしいという期待のこもった内容でした。

特別講演は大分県地域医療支援センター長であり大分大学医学部長であります猪股雅史先生に司会を務めていただき、福井大学医学部附属病院救急科総合診療部の林寛之教授に「初期研修 ER サバイバル」と題して、ご講演賜りました。初期研修医の際に、将来進む診療科と異なる領域をしっかりと勉強すること、心筋梗塞などの重篤な疾患も、様々な主訴で来院することなど、初期研修医の先生方の今後の研修をより良くするアドバイスをたくさん頂きました。また、患者さんとの向き合い方についても印象的でした。患者さんを否定せず肯定すること、共感すること、患者さんに興味を持つこと、など、どの科に進んでも医師としての立ち振る舞いに重要なことをたくさん教えていただきました。

佐藤樹一郎大分県知事もご参加いただき、大分県地域医療の現状と課題、研修医全員への期待などを込めた祝辞をいただきました。

大分県で初期研修を行っている医師の方々が、地域医療に貢献する強い思いを今度も持ち続け、大分県の地域医療を担っていただくことを祈念しています。

文責：塩田星児



